令和7年度点検分　砥部町通学路安全対策箇所一覧表（R8.3時点）

資料1

令和8年3月現在

整理番号	小・中学校区名	危険箇所		危険種別			道路種別				抽出年度	要合同点検	対応機関						R7.9時点の具体的対策予定（対策メニュー）	R8.3時点の具体的対策予定（対策メニュー）	対策状況		
															道路管理者								
		場所	状況	交通安全	防犯	防災	市町道	県道	国道	その他			教育委員会	警察	国	県	市町	その他			対策済	継続	その他
1	麻生小学校1	拾町交差点の西側にある歩道（車両の通行は不可）	【状況、具体的な事例など】 児童の登下校のコースになっていて、歩行スペースはかなり狭い。ここを歩行する際、自転車が通るので、危ないときがある。保護者からの連絡により認知。	○			○				7	○				○			町：通学路の変更。 学校：県道伊予川内線の歩道を整備してほしい。 県：歩道未整備区間における歩道の設置を検討。	【学校】県道に歩道が整備されるまでは、児童生徒に通学指導を徹底する。 【県】歩道を確保するための整備を検討。		○	
2	麻生小学校2	八倉集会所東　通学班集合場所と東に抜ける通学路(町道八倉拾町線)	【状況、具体的な事例など】 集合場所は見通しが悪く、車両通行が多い。特に東西の町道八倉拾町線は、交通量も多くスピードもかなり出している。加えて道幅も狭く見通しも悪いため、八倉区長をはじめ地域住民や児童保護者の心配度は高い。以前、自転車とバイクの接触事故があった。	○			○				7	○		○			○	○	町建設課：R7中に路面シールの設置により、注意喚起。 警察：規制取締り、見回りの強化　　学校：登校指導 ※後年度に町下水道敷設工事に合わせて、現存の路面安全対策の復旧	【町建設課】路面シール設置完了。 【警察】計画的な交通指導取締りの実施。パトカーによる警戒警らの実施。	○		
3	宮内小学校1	町道宮内塩ヶ森線　宮内さかえ団地入口の坂	【状況、具体的な事例など】 温泉や公園への進入路のため、交通量も多い。またカーブで見通しが悪く、路側帯の一部は樹木の整備がなされていない山肌においては、大雨時の落石の危険があり、通学時に路側帯から出て車道へとはみ出さなくてはならないことがある。	○			○				7	○					○	○	町建設課：支障木の伐採実施 学校：保護者への注意喚起		○		
4	宮内小学校2	県道砥部伊予松山線　旧宮内保育所西側川井登り口	【状況、具体的な事例など】 横断歩道が消えかかっており車から視認しにくくなっている。下り車両や、左折してすぐの車両は横断歩道を視認できず付近で加速しがちな車が多い。	○				○			7	○		○					警察：本部交通規制課に対し、補修要請済。	【警察】横断歩道引き直しを実施。	○		
5	砥部小学校1	県道大平砥部線 ※むかしのくらし館　前交差点	【状況、具体的な事例など】 旧道が優先となっているが、一時停止を怠る車が多く、年に数回大きな事故が起こっている。昨年度も対策を実施してもらっているが、まだ危険な状況である。	○				○			7	○		○		○			県：交差点内を着色する。 警察：計画的に交通取り締まりを実施。	【警察】計画的な交通指導取締りの実施。パトカーによる警戒警らの実施。 【県】交差点内の着色を実施。	○		
6	砥部小学校2	県道大平砥部線 砥部町五本松・外山	【状況、具体的な事例など】 通学路の横断歩道が消えかかっているほか、自動車の速度が速い上に、自動車から横断歩道が確認できない。	○				○			7	○		○					警察：本部交通規制課に対し、補修要請済。	【警察】横断歩道、ひし形マーク引き直しを実施。	○		
7	砥部小学校3	町道客天神線　砥部町客	【状況、具体的な事例など】 狭道であるが、通行量が多く、自動車の速度も速い。歩道の幅が狭く、学校へ行くために道路を横断しなければならないが、一時停止前かつ横断歩道がないため、児童が通行していても速度を落とさない。	○				○			7	○					○		町建設課：道路にセンターラインと減速文字を設置する	【町建設課】交差点手前にセンターライン（破線）、減速文字を設置。青矢印の農道にも路面シール設置完了。	○		

整理番号	小・中学校区名	危険箇所		危険種別			道路種別				抽出年度	要合同点検	対応機関						R7.9時点の具体的対策予定（対策メニュー）	R8.3時点の具体的対策予定（対策メニュー）	対策状況		
		場所	状況	交通安全	防犯	防災	市町道	県道	国道	その他			教育委員会	警察	道路管理者 国	道路管理者 県	道路管理者 市町	その他			対策済	継続	その他
8	砥部小学校4	町道大南大岩橋線　砥部町久保田	【状況、具体的な事例など】 雑草が道路まではみ出し、白線も見えない状態になっている。歩道が通行できないため、車道にはみ出さなければならない。	○			○				7						○		町建設課：支障木の伐採		○		
9	広田小学校1	県道久万中山線　伊予郡砥部町高市　谷集落付近	【状況、具体的な事例など】 道路の上部に木がはみ出しているほか、側道は草木も茂っているため、通学バスの支障となっている。 定期的な木の剪定や伐採、除草を望む。	○				○			7	○				○			県：車道にはみ出て通行に支障がある箇所については、木の伐採を行う。	県：10月に支障木の伐採を実施。	○		
10	広田小学校2	県道久万中山線　伊予郡砥部町高市　山村留学センター付近　出入口	【状況、具体的な事例など】 県道から山村留学センターに向け左折する境界に大きな溝があり、スクールバスの通行に支障が生じている。	○				○			7	○				○			県：県道の拡幅計画があり、来年度から起業地の地権者と用地交渉を進めていく予定である。舗装の劣化が著しい箇所については、修繕する。	県：10月に該当箇所の補修を実施。	○		
11	砥部中学校1	県道砥部伊予松山線　宮内小学校付近交差点	【状況、具体的な事例など】 見通しが非常に悪い交差点。これまで多くの安全対策を実施しているが、通行量が非常に多く、危険が多い箇所。 一灯点滅式信号があるが、車両や歩行者等が譲り合う場面等も多く、混乱が生じているため、感応式あるいは定周期式信号をつけてほしい。	○				○			7	○		○				○	警察：一灯式信号機を廃止後、一時停止標識規制に変更。 （2～3年以内を予定） 学校：生徒への注意喚起、登下校指導	警察：県下における一灯式信号機は全部撤去予定の方針。その代わりに、一時停止規制による切り替えを2～3年内に実施予定。		○	
12	砥部中学校2	県道砥部伊予松山線　砥部中学校を出て宮内小学校までの県道	【状況、具体的な事例など】 車両、歩行者ともに通行量が非常に多い場所。カーブミラーが設置されているが、見通しが悪く、自転車通学生が登下校中、車両が路側帯を超えて侵入してくることがあり、接触しそうな場面が数回あった。	○				○			7	○				○			県：カーブ区間にポールコーンを設置する。	【県】11月に路面シールを設置	○		
13	砥部中学校3	県道砥部伊予松山線、町道砥部中学校線（止まれ側）　中学校南側の道	【状況、具体的な事例など】 「止まれ」の表示はあるが、横断歩道がないため、登校中の自転車通学生が飛び出してきた自動車と接触しそうになることが年に数回あった。	○			○	○			7	○					○		町建設課：道路反射鏡の大きさを変更（Φ600㎜→Φ800㎜）	【町建設課】カーブミラーの大きさを800mmに変更済。	○		
14	砥部中学校4	県道大平砥部線(東西)　運動公園入口交差点	【状況、具体的な事例など】 新しくセブンイレブンができたことにより、急に左にウインカーを出して駐車場に入ろうとする自動車がおり、危険である。 本校の教員が登校指導中、駐車場に入ってくる自動車と登校中の自転車通学生が接触しそうになったことが１度あった。	○						○	7		○					○	町総務課：交通安全協会ののぼり旗を設置し、注意喚起を図る。	(町総務課)所有者ご協力のもと敷地内にのぼり旗を設置。	○		
												12									12	2	0